

## ◆令和6年9月2日開催庁議◆

### 1. 市長挨拶

- 8月末の人口が70,480人と前月末から58人増え、前年同月からは150人増と過去最高を更新した。中身を見ると外国人が増加し日本人は減少している。人口が増えればそれぞれの活動が活発となり、経済も活性化していくことから人口が増えることは好ましいことで、今後もそうした施策を推進していきたい。現在、都市計画マスタープランの見直しや新市街地の検討等をしている中で、人口が増える施策を進めていきたい。
- 和木町へ研修派遣していた伊藤保育士が、台風で予定より1日遅れたようだが無事に帰ってきた。和木町日記を読んでいたが、それぞれの地域での子どもへの接し方など色々違いがあるようで、伊藤保育士が大変参考になったという話が随所にあった。人員の面で大変だと思うが、他の自治体へ行きたいということがあれば相談に乗りたいと思う。また、視察も積極的にしていただきたい。職員の視察は、年間5～6件あるいはもっといるかもしれないが、以前はもっと多かったと思うので、時間を取るのは大変だと思うが、積極的に外へ行って視察をしていただきたい。
- 3定が始まる。来年度の予算に関わる質問等もあると思われるので、どこまで話ができるか我々と検討しながら対応していきたい。恵庭はまだまだ発展するまちであるので、積極的に取り組んで検討していきたい。

### 2. 議事

#### (1) 省エネ法等に基づく管理標準の作成及び改訂について【総務部】

##### ◎資料に基づき、総務部長説明

- 省エネ法ではエネルギーを消費する設備運転並びに保守及び点検に関し、「管理標準」を設定し、これに基づいて施設の管理を行うこととしている。制定済みの管理標準の見直しを毎年お願いしており、今年度も管理標準の作成を願う。

【提出期日】9月13日（金）

#### (2) 北海道文教大学連携協定100件締結記念フォーラムの開催について【企画振興部】

##### ◎資料に基づき、企画振興部長説明

- 北海道文教大学では、本市をはじめ企業や医療機関等の様々な分野において連携協定を締結し、事業展開を図っている。7月の連携協定100件を記念して、関係機関との情報交換や団体・企業同士の連携・交流を深めるよう、記念フォーラムを開催する。記念フォーラムはこれまでの連携事業の報告のほか、市長が出席するパネルディスカッションも実施される。同大学とはこれまで様々な面で連携していることから、職員の積極的な参加をお願いしたい。

【開催日時】11月9日（土）14時00分～15時45分

【開催場所】北海道文教大学鶴岡記念講堂大ホール・学生会館

【申込期限】9月13日（金）

（副市長）

土曜日の開催であるが積極的な職員の参加を願う。

### （3）えにわ多文化共生フェスタ2024の開催について 【企画振興部】

#### ◎資料に基づき、企画振興部長説明

○本市の外国人住民は急増しており、7月末で1,071人の外国人住民が居住されており、恵庭市の人口に占める割合は1.5%となった。在住外国人と市民の交流のきっかけとし、互いの文化の理解や国籍を超えた交流を促進するため、多文化共生フェスタを開催する。当日は、外国人のブース展示のほか、パネルディスカッション、外国人スピーチ、ステージパフォーマンス、外国料理のキッチンカーの出展などもあり、家族でも楽しめるイベントとなっているため参加願う。

【開催日時】9月23日（月・祝）10時00分～15時00分

【開催場所】はなふる

#### ◆令和6年9月24日開催庁議◆

##### 1. 市長挨拶

- 3定の決算個別・代表質疑が始まるので準備をお願いしたい。
- 先日の能登の大雨が大変な状況であり、地震でインフラが壊滅した後に大雨がきて非情なものだと思う。現段階で7名が亡くなり多くの家屋が流され、恐ろしいものである。恵庭市では平成26年に恵庭湖上流奥漁で400ミリ降ってダムも放流を増やして漁川が増水した。堤防を越えて外水が流れ込んでくることを想定し、それにしっかりと備えなければならない。
- 昨日、多文化共生フェスタがはなふるで開催された。パネルディスカッションには副市長が出席したが、外国人からは恵庭市の対応が素晴らしいというお褒めの言葉をいただいたそうです。他国へ来て生活をする上で様々な相談に対応していることに感謝しているということで、大変嬉しく思う。担当する所管課や、それぞれの窓口等で対応した職員に感謝申し上げる。
- 市役所が信頼、信用力をつけるということは、簡単に言うと約束を守ることだと思う。また、約束というのをしっかり考える必要があり、できない約束はしないということが重要である。いつまでに道路を直すなどについては、確かになっていないことは約束せず、いつになったら判断できるということを約束する。事務の都合や財源の関係で実施が伸びるということはあるので、そういったことを考えなければならない。事務的なミスは必ずあるが、そのときに、相手方がいれはすぐに対応するということが

大切である。すぐに対応してくれたことで、逆に信用力を高めることに繋がる可能性がある。それと、職員のそういった事態について、部長が知らないということがあってはならない。市役所全体の信用力を落とすことにつながるので、情報の共有をお願いしたい。

## 2. 議事

### (1) 10月1日付人事異動内示について【総務部】

#### ◎資料に基づき、総務部長説明

- 今回の人事異動については、生活環境部で業務分担の見直しによる部内異動、消防本部で新規職員の採用によるものである。
- 今回の異動は主査職及び新規採用職員の異動であり、組織・機構に大きな影響は発生しないが、異動が発生した部署においては、システム等の設定など遺漏の無いように対応を願う。

### (2) 中期財政収支見通しについて【総務部】

#### ◎資料に基づき、財務室財政課長説明

- 令和6年度は、当初予算をベースに交付税の本算定の結果などを反映して推計した。
- 令和7年度以降は、歳入・歳出予算ともに令和6年度予算をベースに影響の大きな予算では各担当課の推計値を採用したほか、経済成長率や人口推計などを用いて推計した。経常収入・支出の推移はともに増加傾向で、経常収支差額は令和7年度の3,000万円から、令和9年度では▲5,800万円と推計している。政策予算は、これまでの予算編成と同様に財源として、国庫や起債、基金を活用することで一般財源の負担を軽減することを想定しており、政策予算充当一般財源は投資経常合わせて2億7,500万円を目標額とした。最終的収支は令和7年度では▲2億4,500万円と推計した。
- 財政運営の基本指針に掲げる指標の予測は、経常収支比率は目標値の93.9%に対し、令和6年度以降の見込みは記載のとおりである。
- 地方債現在高は、既存起債の償還額と政策的事業から想定される新規発行額から推計した。総合計画期間内で残高を増やさない目標となっていることから、令和7年度はこの考えのもとに推計する。しかし、昨今の賃金・物価の上昇により事業費が従前の1.8倍から2倍程度の増加であることから、同規模の投資を継続するために新たな地方債マネジメントが必要となる。
- 実質公債費比率は、目標値を6.4%程度としている。これまでの財政運営により、早期健全化基準の25%を大きく下回る見込みである。
- 財政調整基金残高の推移について、決算剰余金を見込んだ決算ベースとしており、その決算剰余金を全て財政調整基金に編入したと仮定した場合で推計したところ、令和6年度期末残高は18億8,100万円となる。決算剰余金による財政調整基金への

編入額は、毎年度2億5,000万円程度確保することを想定し、標準財政規模の10%である約16億円程度が確保できる見込みである。

- 令和7年度の見通しでは、経常収支差額が十分確保できない厳しい状況ではあるが、引き続きまちづくりに必要な事業を確実に実施できるよう、十分な査定のもとで予算編成を行っていくためご理解とご協力を願う。

(市長)

新規の政策はここ数年予算化している。行政改革推進計画もあるが、見直しを図らなければならないものは各担当で見直しをして経常経費の中で見直す努力をお願いする。こういうことができるのもふるさと納税が堅調に推移していることだが、このところ厳しくなっている。基金も相当使っており、企業版ふるさと納税で支援していただける企業を探すなど頭に入れながら行動してほしい。